

議会だより

17-Seventeen



日峰山の東端から市街を望む = (元根井)

日峰山の尾根伝いに新四国八十八ヶ所霊場があり、東端にある元根井の観音堂から第一番が始まる。灯台横を通る遊歩道沿いの石仏をお参りしながら散策する人が多い。

クイズは
9ページに
あるよ



目次

議会新体制、各常任委員会・特別委員会の紹介	2～3
3月定例会議 常任委員会報告	4～6
平成30年度政務活動費収支一覧	7
賛否表(3月)、議会モニター	8～9
6月定例会議 常任委員会報告	10～11
6月定例会議 一般質問	12～19
9月定例会議日程 他	20

市民の声に耳を傾け議会としての役割をしっかりと果たしていく

この度、議会改選後の小松島市臨時会議におきまして、第55代小松島市議会議長に就任いたしました。

身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。一年間議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

現在、本市を取り巻く状況は、近年においては



前川英貴 議長

第1回臨時会議が5月15日に開かれ新体制での活動がスタートしました

議長に前川英貴氏 副議長に米崎賢治氏

県内の中で、最も人口減少が著しく、ここ5年間にかなりの施策が自治体存続の力を握るだろうと予測されます。

その要因の一つとしては、若者人口の市外・県外への流出です。この現状をしっかりと認識し、若者の定住促進はもちろんのこと、Iターン、Uターン等の政策に取り組む必要があります。

また、市の財政も逼迫する中、少子・高齢化社会に対応した福祉サービスの充実や、地場産業の振興、小学校の再編、競輪場の施設整備、広域ごみ処理施設の問題、日峯大神子広域公園の整備事業、地震・津波等の自然

災害の発生に備えた防災・減災対策の推進等、多くの課題を抱えている状況にあります。市議会といたしましては、これらの課題につきましてもしっかりと取り組み、強化を図ってまいります。

常に市民の皆様の声に耳を傾け、市議会としての役割をしっかりと果たしながら、本市の活性化に向けて全力を尽くしていきますので、今後とも議会活動に對しまして、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



米崎賢治 副議長

この度、議員各位のご推挙によりまして、副議長に就任させていただきました。身にあまる光栄とともに、改めてその責任の重さを痛感しているところであります。「令和」の新时代とともに古き良き伝統を重んじて、新しい未来のためにチャレンジし、更なる市民目線で議会改革に取り組み、今以上に開かれた議会を目指しながら、議長を補佐し、全力で取り組んで参る所存でございます。今後とも、市民の皆様からは貴重なご意見をいただくとともに、市議会に對するご協力をお願い申し上げます。



監査委員
四宮 祐司

この度、議会より監査委員として選出いただき責任の重さを痛感しております。貴重な税金が市民サービスの向上に向けて有効、適切に使われているかどうか、公正で合理的かつ効率的な行政が確保されているかどうかなどをチェックする監査部門の重要性は、増してきていると考えています。また、小松島市は今後も厳しい財政状況の中で少子高齢化対策、防災減災対策等の様々な課題を抱えており、適正な財政運営が求められています。監査委員として自身の研鑽を怠らず、微力ではございますが、一生懸命責務を果たしてまいります。



委員会構成

◎ 委員長
○ 副委員長

総務 常任委員会

- ◎ 廣田 和三
- ◎ 井内 章介
- 佐野 善作
- 吉見 勝之
- 米崎 賢治
- 橋本 昭
- 松下 大生
- 近藤 純子
- 佐藤 光太郎
- 津川 孝善

産業建設 常任委員会

- ◎ 出口 憲二郎
- ◎ 南部 透
- 佐野 善作
- 井村 保裕
- 池淵 彰
- 杉本 勝
- 吉見 勝之
- 米崎 賢治
- 四宮 祐司
- 松下 大生
- 佐藤 光太郎

議会運営 委員会

- ◎ 出口 憲二郎
- 佐野 善作
- 井村 保裕
- 津川 孝善
- 前川 英貴

議会改革特別委員会

- ◎ 四宮 祐司
- 南部 透
- 出口 憲二郎
- 杉本 勝
- 吉見 勝之
- 松下 大生
- 井内 章介
- 津川 孝善

議会広報特別委員会

- ◎ 廣田 和三
- 津川 孝善
- 吉見 勝之
- 橋本 昭
- 井内 章介
- 近藤 純子
- 佐藤 光太郎
- 南部 透

文教厚生 常任委員会

- ◎ 井村 保裕
- ◎ 近藤 純子
- 出口 憲二郎
- 池淵 彰
- 杉本 勝
- 廣田 和三
- 橋本 昭
- 四宮 祐司
- 井内 章介
- 津川 孝善
- 南部 透

予算決算 常任委員会

- ◎ 佐野 善作
- ◎ 松下 大生
- 出口 憲二郎
- 井村 保裕
- 池淵 彰
- 杉本 勝
- 吉見 勝之
- 廣田 和三
- 米崎 賢治

橋本 昭

競輪事業調査特別委員会

- ◎ 出口 憲二郎
- 池淵 彰
- 佐野 善作
- 井村 保裕
- 杉本 勝
- 米崎 賢治
- 橋本 昭
- 松下 大生
- 井内 章介
- 津川 孝善
- 南部 透

3月定例会議 常任委員会報告

総務常任委員会

消防用設備等が消防法令に違反する場合はその旨を公表することができる

委員長 井村 保裕

当委員会には議案7件が付託され、審査の結果、原案のとおり可決。陳情1件は後記のとおり。

◎議案第10号、12号 小松島市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例、小松島市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例、小松島市行政手続条例の一部を改正する条例は、引用条文の条ずれや文言の修正等の改正によるもの。

◎議案第29号 小松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、国の指定地域で勤務する職員に対し、地域手当を支給するもの。

◎議案第30号 小松島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例は、働き方改革の一環として実施される国家公務員の超過勤務

◎議案第13号 小松島市市税賦課徴収条例の一部

を改正する条例は、軽自動車税環境性能割につき、当分の間県が徴収するため、軽自動車税の非課税の範囲を県と同一の規定とするための改正によるもの。

是正措置に準じた措置を行うため、規則への委任規定を設けるもの。

康保険から後期高齢者医療保険の変更時の口座振替がわかりにくい、周知が必要ではないか。

文教厚生常任委員会

適時条例改正を確実に実行

委員長 杉本 勝

◎陳情第1号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求めるについては、「本市には米軍基地が無く、地位協定についても詳しく勉強する必要はある。」との意見から、継続審査となった。

◎議案第14号、15号、17号、23号、25号 引用条文の条ずれや文言の修正等、所要の改正を行うもの。

◎議案第16号 文言の修正及び、交通遺児等に対する給付及び無料バス優待証等の給付につき対象を拡大する改正を行うもの。

◎所管事項に関する質問 北野 75歳が来て国民健

◎議案第20号 小松島市家庭奉仕手数料条例により提供していたサービスは、障がい者総合支援法に基づく居宅介護として、同様のサービスを提

◎議案第21号 引用条文の条ずれ改正及び、地域包括支援センターへの配置が求められている職種で「保健師その他これに準ずる者」について要件を追加する改正を行うもの。

◎議案第22号 引用条文の条ずれ改正及び、短期・長期譲渡所得にかける特別控除に関する規定等を追加する改正を行うもの。

◎議案第33号 「小松島市就学前教育・保育の在り方」の方針に基づき、平成30年度の園児数と新年度の入園申込状況から、平成31年度より小松島幼稚園及び和島幼稚園を廃園することとし、所要の改正を行うもの。

◎議案第34号 平成31年度より勝浦川運動広場を廃止するもの。

◎議案に対する質疑 安平 議案20号で、国が平成18年に定めて以降も

い適地があるので、移転を考えてはどうか。

◎議案に対する質疑 北野 議案第34号で、勝浦川運動広場は地域における災害の保護と災害対策用のヘリコプターの降着場であった。広場の利用では木が生い茂り、利用できないから利用して

生涯学習課長 近年、利用する団体等もなく、大雨等で堆積の土砂が流れ込む場所であり、復旧、維持管理等に多額の費用が発生するおそれがあるため、継続利用は難しいと判断した。また、県から緊急時における防災ヘリコプターの発着地として適さないと指摘を受け、市防災計画上から除外となっている。



勝浦川運動広場

いなかつた。この運動広場の下に代替地として広

産業建設常任委員会

県が行うほ場整備事業に伴う市道路線の変更を行う

委員長 米崎 賢治

◎議案第27号 小松島市営住宅条例の一部を改正する条例については、市営住宅の設置に関する規定を追加する改正等を行うとともに、既存入居者の心身の状況等に

改正する条例については、農地利用最適化交付金の創設を受け、農業委員会の積極的な活動を推進するため、農地利用の最適化に係る活動及び成果の実績に応じ、農業委員等の報酬を加算することができることとする改正を行うもの。

◎議案第28号 特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を

◎議案第35号 市道路線の変更については、大林3号線他4線について、徳島県が行う経営体育成基盤整備事業、いわゆるほ場整備事業であるが、坂野2期地区の完成に伴う換地処分による起終点の変更を行うもの。

◎議案第36号 市道路線の廃止については、大林4号線他2線

◎陳情に対する意見 宮崎 全部木を切り倒して植林をするというのが現実的ではない。まずは、間伐をもっとやってみる必要がある。間伐から新しい繊維もできる



坂野8号線

について、経営体育成基盤整備事業坂野2期地区の完成に伴う換地処分により廃止するもの。

◎所管事項での質問 佐野 旗山住宅の入居予定はいつ頃か。

◎住宅課長 田野団地から移転を主に考えている旗山団地について、5月1日を目途に移転を進めている。

◎住宅課長 旗山団地が満室にならない場合、募集をかけるのか。

◎住宅課長 田野団地の入居者が満室にならなかつた為、立江清水団地の方向にダイレクトメールを行い、現在も募集期間中である。

◎住宅課長 田野団地の方への同意とその後の除却について聞く。

◎住宅課長 全ての方が移転ではないが、田野団地全戸が明け渡しになれば、その後除却を予定している。

委員長 池淵 彰

予算決算 常任委員会

平成31年3月当初予算を可決

一般会計予算 **169億2千300万円**

前年度比6.4%増

議会抽出の平成31年度主な予算重要事業



予算額 **399万6千円**

新たな学校敷地の規模、立地利便性、都市機能、災害リスク、地域コミュニティへの影響、通学距離、概算事業費、開校時期など幅広い検討が必要であり、専門的知見を要する為、事業委託する。

事業名	予算額	(内、市負担)	(内、国・県負担)	その他
幼児教育無償化制度事業	2,885万7千円	0円	2,885万7千円	
プレミアム付き商品券事業	2億7,350万5千円	0円	7,350万5千円	2億円 ※対象者購入金額分
観光・イベント振興事業	3,694万4千円	2,799万7千円	894万7千円	

事務事業評価に対する予算反映等改善

平成30年9月定例会議で、平成29年度決算審査における議会からの意見書に対して予算反映書が提出された。



予算反映等改善事項
事業コストが大幅な増となり、代替案を検討した結果、平成31年4月より、路線バスを活用し、低学年（小学1・2年）通学定期券購入者に補助金を交付する。
【予算額】平成29年度 1,054万1千円 平成30年度 1,108万1千円 平成31年度 遠距離通学支援事業 259万6千円

なお、その他の「平成31年度予算重要事業」や「事務事業評価に対する予算反映等改善書」は市議会ホームページをご覧ください。

平成30年度 視察実績

つくば市議会 (茨城県)	・通年議会について ・予算決算委員会の審査方法について ・タブレット端末の活用について ・議会改革について
長井市議会 (山形県)	・通年議会に係る議会運営について ・議会改革の進め方について（議会改革特別委員会の活動経過等）
浜田市議会 (島根県)	・通年会期制について
亀山市議会 (三重県)	・通年議会制について、勉強会による市への提言について ・議決を要する計画への議会の関与について
大和高田市議会 (奈良県)	・行政評価について
八幡浜市議会 (愛媛県)	・通年会期制について ・予算決算委員会について

当市議会では、年間を通して常に議会が活動できる通年会期制を導入しており、休会中の委員会開催や災害等の事件に速やかに対応できるよう取り組んでいるが、この通年会期制を更に活かす取り組みとして『臨時会議』

委員長 安平 剛之

年間テーマの研究
「臨時会議のあり方について」を調査研究

平成30年度 議会改革特別委員会報告

平成30年度 政務活動費収支一覧表

会派名	新生クラブ	やまももクラブ	新風はなみずき	みらいの会	前進クラブ	公明党	日本共産党	創生クラブ	大互クラブ	年間総計
議員名	杉本 勝 武田 清 出口憲二郎 (6/22付脱退) 前川 英貴 (10/1付脱退)	宮崎 欽司 北野 恒男 吉見 勝之	井村 保裕 佐野 善作 廣田 和三 米崎 賢治	安平 剛之 池淵 彰	出口憲二郎 前川 英貴	四宮 祐司	片田 真弓	松下 大生	高木 幸次	
交付額	500,392	720,000	960,000	480,000	459,608	240,000	240,000	240,000	240,000	4,080,000
利子	6	5	3	2	1	1	2	2	2	24
支出科目	研究研修費	103,068	89,808	226,038	105,000	0	119,330	0	0	643,244
	調査旅費	0	0	0	10,285	0	0	0	0	10,285
	資料作成費	1,429	61,452	0	0	0	0	0	0	62,881
	資料購入費	2,400	0	0	91,584	0	0	0	0	93,984
	広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	57,680	0	0	0	0	0	57,680
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の経費	67,749	73,908	98,544	49,272	30,795	24,636	24,636	24,636	24,636	418,812
支出総額	174,646	225,168	382,262	256,141	30,795	143,966	24636	24636	24636	1,286,886
残額(返納額) ※利子含む	325,752	494,837	577,741	223,861	428,814	96,035	215,366	215,366	215,366	2,793,138

新生クラブ出口議員は平成30年6月22日付で脱退し、同日付で新たに前進クラブを結成した。前川議員は平成30年10月1日付で新生クラブを脱退し、同日付で前進クラブに加入した。いずれも脱退時点で調整を行い、前進クラブに交付している。年間総計においては、実質的な交付額及び返納額を用いている。

議会モニターとは？

Q. 設置した目的は？

A.市民の多様な意見を聴取し、議会の改革・活性化の推進と政策提案機能を強化することを目的に、平成30年10月より議会モニター制度の運用を開始した。定員は20名とし、公募によるものとする。



Q. 職務内容は？

- A.
1. 会議を傍聴し、会議の運営に関する意見や、市議会だより、ホームページに関する内容を文書により提出する。
 2. 議長が依頼する調査事項に回答する。
 3. 市議会議員と1年に1回以上意見交換を行う
 4. モニター会議に出席すること。
 5. その他議長が必要と認めたこと。

Q. 提出された意見はどう反映される？

A. 議長は必要に応じて関係する会議で審議するよう提言等を行い、当該会議において検討させる。また、検討結果は、市議会ホームページや議会だよりで公表する。

議会情報公開制度による開示状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

前年度の議会情報開示の実施状況を報告します。平成30年度は、開示請求は2件でした。議会情報開示請求の方法などのお問い合わせは議会事務局（電話 32-1359）まで。

議会だより第120号(前号)クイズの答え

①2月18日

(前回の問題)
源義経の騎馬像が芝生町旗山にあります。義経がこまつまに上陸したのは、1185年のいつでしょうか？



- ① 2月18日
- ② 7月18日
- ③ 10月18日

◇議会モニターの委嘱

新たに、応募のあった6名の方に議会モニターを委嘱しました。
(任期：令和元年6月10日から令和3年4月30日まで)



- ・ 上甲 清子 さん (坂野町)
- ・ 谷澤 義治 さん (小松島町)
- ・ 前川 和子 さん (金磯町)
- ・ 松本 真樹 さん (和田島町)
- ・ 山本 純 さん (赤石町)
- ・ 若林 勝弘 さん (間新田町)

〈50音順〉

クイズ

徳島県内で、小松島市はオクラの生産量が1位を誇っていますが、オクラの花はどれでしょうか？次の3つからお選びください。



応募方法

はがきに答え・住所・氏名・年齢を記入。
正解者の中から、抽選で5名様に
図書カード1000円分プレゼント!
(当選者の発表は商品の発送をもって
かえさせていただきます。)

あて先
〒773-8501
小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
(締切日 令和元年8月31日消印有効)

前回はたくさんのご応募、ありがとうございました。

議員の賛否表 (平成31年3月定例会議)

議案等	議員名 (議席番号順)	委員長報告	松下大生	四宮祐司	高木幸次	米崎賢治	池淵彰	片田真弓	杉本勝	前川英貴	廣田和	井村保裕	北野恒男	吉見勝之	出口憲二郎	安平剛之	佐野善作	宮崎欽司	結果	
第1号	平成31年度小松島市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情第1号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める陳情について	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
陳情第3号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

委員長の報告に対して ○は賛成 ●は反対 ※議長(武田 清)は、採決に加わりません。

議案第1号 平成31年度一般会計予算に対する反対討論 高木幸次 議員

一般廃棄物中間処理施設広域整備計画では、住民合意がないまま、現計画候補地での建設ありきで事業化が進められようとしている。この現計画候補地については、建設候補地の下流の方に我が市の水道源、農業用水取水口などがあるため適地とは私は考えていない。

以上、現候補地ありきでの対策にかかる負担金の内容が含まれることから、私は賛成することはできない。

以下の議案42件、陳情1件、議提1件、委提1件は全会一致で可決。

第2号	平成31年度小松島市競輪事業特別会計予算	
第3号	平成31年度小松島市後期高齢者医療特別会計予算	
第4号	平成31年度小松島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	
第5号	平成31年度小松島市国民健康保険特別会計予算	
第6号	平成31年度小松島市土地取得事業特別会計予算	
第7号	平成31年度小松島市介護保険特別会計予算	
第8号	平成31年度小松島市公共下水道事業特別会計予算	
第9号	平成31年度小松島市水道事業会計予算	
第10号	小松島市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	第25号 小松島市指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
第11号	小松島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	第26号 小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について
第12号	小松島市行政手続条例の一部を改正する条例について	第27号 小松島市営住宅条例の一部を改正する条例について
第13号	小松島市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例について	第28号 特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
第14号	小松島市公害防止条例の一部を改正する条例について	第29号 小松島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
第15号	交通安全の保持に関する条例の一部を改正する条例について	第30号 小松島市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
第16号	小松島市社会福祉憲章条例の一部を改正する条例について	第31号 小松島市火災予防条例の一部を改正する条例について
第17号	小松島市保育の必要性に係る認定の基準に関する条例の一部を改正する条例について	第32号 小松島市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
第18号	小松島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	第33号 小松島市立学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例について
第19号	小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	第34号 小松島市身近な運動広場条例の一部を改正する条例について
第20号	小松島市家庭奉仕手数料条例を廃止する条例について	第35号 市道路線の変更について
第21号	小松島市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	第36号 市道路線の廃止について
第22号	小松島市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	第37号 平成30年度小松島市一般会計補正予算(第4号)
第23号	小松島市指定介護予防支援事業者の指定の基準並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	第38号 平成30年度小松島市競輪事業特別会計補正予算(第3号)
第24号	小松島市指定地域密着型サービスの事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	第39号 平成30年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
		第40号 平成30年度小松島市介護保険特別会計補正予算(第2号)
		第41号 平成30年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
		第42号 小松島市教育委員会教育長の任命の同意について
		第43号 人権擁護委員の推薦について
陳情第2号	独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める陳情について	
陳情第1号	独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書	
委提第1号	市道等整備の拡充に関する意見書について	

6月定例会議 常任委員会報告

総務

市火災予防条例における 住宅用防災警報機等の設置に 関する免除規定を追加

委員長 廣田 和三

当委員会には、議案3件、報告2件、陳情4件が付託され、審査の結果、議案3件は原案どおり可決された。

●議案第47号

小松島市事務手数料条例の一部を改正する条例について、サービス分野等においても規格が制定されるようになり、日本工業規格から日本産業規格という言葉に改めるもの。

●議案第48号

小松島市火災予防条例の一部を改正する条例について、特定小規模施設のうち住宅部分に特定小規模施設用自動火災報知機を設置した場合に、住宅用防災警報機等の設置を免除する規定を追加するもの。

陳情4件は、採決の結果、調査研究のため継続審査とする。

●陳情第4号

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により

●陳情第5号

辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により

●陳情第6号

日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める陳情。

●陳情第7号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第8号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第9号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第10号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第11号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第12号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第13号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第14号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第15号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第16号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第17号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第18号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。

●陳情第19号

米軍普天間飛行場の辺野古移転を促進する意見書に関する陳情。



文教厚生

介護保険料の保険料軽減を実施する

委員長 井村 保裕

当委員会には議案5件が付託され、原案のとおり可決した。また、報告についても詳細な説明を受けた。

●議案第49号

小松島市印鑑条例の一部を改正する条例については、旧氏での印鑑登録、印鑑登録証明書への旧氏の併記を可能にするもの。

●議案第50号

小松島市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例については、「控除対象配偶者」が「同一生計配偶者」に改められたことによる改正。

●議案第51号

小松島市介護保険条例の一部を改正する条例については、所得段階が第1段階が31860円を、第2段階が53100円を、第3段階が44250円を、第4段階が53100円を軽減を実施するもの。

●議案第52号

訴えの提起については、住宅新築資金等貸付金に関して、徳島地方裁判所に主債務者を被告として貸金の返還を求める訴えを提起すること。

●議案第53号

財産の取得については、本市の中学校におけるICT環境の整備を図るため校務用パソコン等を購入する。

●報告第11号

小松島市国民健康保険税の条例改正により、基礎課税額の付加限度額を58万円から61万円に引き上げる。保険税の軽減措置の規定で、軽減世帯の基準額を、5割軽減の対象者は27万5千円から28万円に、2割軽減対象者は

●報告第12号

平成30年度小松島市一般会計補正予算(第5号)の歳入の市債を340万円増額し、同額を財政調整基金繰入金から減額する補正及び現年度分執行額の確定に伴う、繰越明許費の補正の専決処分。

●報告第13号

平成30年度小松島市競争事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額に伴う繰越明許費の補正の専決処分。

●報告第14号

平成30年度小松島市水道事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額の確定に伴う繰越明許費を専決処分。

●報告第15号

平成30年度小松島市水道事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額の確定に伴う繰越明許費を専決処分。

予算決算

環境衛生センターの 収集管理事務所の整備を行う

委員長 佐野 善作

当委員会には議案2件が付託され、慎重審査の結果、原案どおり可決された。また、報告7件について詳細な説明を受けた。

●議案第45号

令和元年度小松島市一般会計補正予算(第1号)環境衛生センターの収集管理事務所整備に係る工事請負費及び監理業務委託料等や、幼児教育・保育の無償化に対応するためのシステム改修に係る経費等の補正。

●報告第12号

平成30年度小松島市一般会計補正予算(第5号)の歳入の市債を340万円増額し、同額を財政調整基金繰入金から減額する補正及び現年度分執行額の確定に伴う、繰越明許費の補正の専決処分。

●報告第13号

平成30年度小松島市競争事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額に伴う繰越明許費の補正の専決処分。

●報告第14号

平成30年度小松島市水道事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額の確定に伴う繰越明許費を専決処分。

産業建設

水道の布設工事監督者及び 水道技術管理者の資格要件を追加

委員長 出口 憲二郎

当委員会には、議案1件が付託され、原案のとおり可決した。また、報告1件についても詳細な説明を受けた。

●議案第52号

小松島市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する

●報告第19号

市道の陥没により発生した物損事故について、損害賠償額を専決処分したものの。

●報告第14号

平成30年度小松島市水道事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額の確定に伴う繰越明許費を専決処分。

●報告第15号

平成30年度小松島市水道事業特別会計補正予算(第4号)の現年度分の執行額の確定に伴う繰越明許費を専決処分。



市政 Q & A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名	
津川 孝善	子育て、子どもを取り巻く環境について	P12
出口憲二郎	市議会議員選挙の投票率について	P12
	小松島市新水道事業ビジョンについて	
松下 大生	若者定住施策について	P14
	防災・減災対策について	P14
	市のまちづくりの方針について	
南部 透	小松島市の空き家等対策について	P14
	小松島公共施設の稼働率について	P15
	四国横断自動車道について	P14
近藤 純子	地域資源を生かした観光振興について	P15
	無差別事件から登下校時の子どもの命をどう守るかについて	P15
	食物アレルギーの対処法の周知徹底について	P15
廣田 和三	小松島市の教育について	P16
	総合管理計画について	P16
吉見 勝之	市道・施設の安全点検について	
	道路の整備と補修について	P16
	水路の整備について	P16
	ごみ収集について	P17
	非常消防費について	P17
橋本 昭	市議会議員選挙について	P16
	小松島市役所で働く、非正規職員の待遇改善について	P17
	国民健康保険税について	P17
	6市町ごみ広域行政について	P17
	小学校統廃合について	P17
佐野 善作	地震、津波対策について	P18
	田野川樋門改修について	P18
	田野川排水機場について	P18
井内 章介	少子化の進行による人口減の対策について	P18
	大規模災害の対策について	P19

GPS付き子ども用携帯電話の所持登校を許可してはどうか

答 文科省の指針、また先進事例地大阪府の動向を見て判断する



至誠コマツシマ 津川 孝善 議員

投票率低下の原因は何か

答 特に若年層の政治・選挙への無関心が考えられる



前進クラブ 出口 憲二郎 議員

津川 災害や登下校中の犯罪に巻き込まれる児童生徒が全国で報告されている。これらを踏まえ、携帯電話の所持登校に関する保護者からの相談状況はどうか。

学校課長 やむを得ない家庭事情などで保護者より携帯電話の持ち込み相談はあるが、1日限りのものが多い。現在のところ、所持登校に関する要望について学校からの報告はない。

津川 原則禁止の方針を保護者に伝えていたため、相談にくい状況もあるのだろう。昨年、登校中に発生した大阪府北部地震（震度6弱）を受け、大阪府教育庁は携帯電話の持ち込み禁止を一部解除した。本市でも、必ず来る大災害に備え、まずは小学校から、保護者が子どもの居場所を特定できる「GPS付き子ども用携帯電話」の所持登校を許可してはどうか。

禁止の方針を出していたが、たしかに本年2月にその一部を見直した経緯がある。今年度中に出される新たな指針を待ち、また大阪府の動向も注視しつつ、許可するかどうかを判断していきたい。

小学生	中学生	高校生
55%	66%	97%

小学生は2010年度と比べると3倍近くに！
携帯電話を所有または利用している割合
(2017年度調査／内閣府)



津川 少年消防クラブ等の活動状況は

本市には、30〜40

年ほど前に幼年・少年消防クラブが結成されていると聞く。現在の取り組みはどうか。

消防課長 近年は少子化や指導者不足のおおりに受け活動が停滞している。現在は学校や地域と連携しながら児童、生徒への防災・減災教育が展開されているので、今後その方面でのバックアップを充実する。

津川 高校入試学区制の市長の見解を問う

市 学区制撤廃に慎重であった過去の委員会答弁と撤廃すべきとした新聞社アンケートでは、市長の回答に矛盾はないか。

市長 新聞社アンケートでは、学区制の撤廃によつて生徒の高校選択の幅が広がることには賛成であるが、地元高校の育成が阻害される可能性は懸念する、という考えのもと「廃止すべき」と回答した。考えに変わりはない。

出口 過去の市議会議員選挙の投票率が大きく低下している。このままでは50%を切ることも考えられるが、この原因は何か。

選挙管理委員会事務局長 核家族化、少子高齢化などの影響や社会構造の変化など、政治や選挙への無関心といった有権者の意識の変化が考えられる。特に若年層には市政に関心を持ってもらい、市議会議員の活動内容を知ってもらうことが、投票率向上につながるかと考える。

出口 具体的に投票率の向上に効果のある対応策をどう考えているか。

選挙管理委員会事務局長 選挙権の18歳以上の引き下げに伴い、小松島西高等学校において選挙制度の出席講座を実施した。また本市では初めてとなる「選挙公報」を発行した。投票率の底上げを図るには、選挙権を得る前から選挙を身近に感じてもらう、投票できる

年齢になったら権利として投票に行くものだという、そういう意識の醸成を図ることが重要であると考えている。

出口 平成19年の統一地方選挙から実施されている期日前投票制度をもつと充実させれば、投票率のアップにつながるのではないかと。現在本市では期日前投票は市役所1階ロビーの1カ所のみであるが、これを増設する考えはあるか。

選挙管理委員会事務局長 事務従事者等のお手伝い、あるいは投票所の状況等を確認していただけるだけの対策をしていきたい。



市役所1階ロビーの期日前投票所

官民連携による津波緊急一時避難施設・場所の拡充を

前進クラブ 松下 大生 議員

答 避難場所の各事業に向けた取り組みの1つとして、研究したい



松下 本市の財政面を勘案すると、民間の活用及び連携を図っていく必要があると考える。先進地事例では、PFI手法により、民間の資金、能力等を活用し、津波避難に必要な建築物の整備をしている自治体や津波避難施設等整備費補助制度として、市民や企業に対し津波避難施設等を整備する際の経費に関して補助金を交付する制度をつくり、課題解決に向けて取り組んでいる。こういった官民連携した取り組みが必要だと思いが、考えは。

避難場所の拡充は、公共施設のみならず、民間施設の協力が必要不可欠であり、今後は、避難場所の各事業に向けた取り組みの1つとして、先進地事例についても研究したい。

松下 今後、避難困難地域及び避難施設が不足している地域において、年次計画を定め計画的に津波緊急一時避難施設を整備していく必要がある。さらに申し上げますと、それらを整備するに当たり、平常時にも活用できるような複合施設等の建物による避難施設の整備を第一方針に掲げて取り

組むべき。
総務部長 防災に特化した事業は、本市の財政状況等を勘案したところ、事業の推進は厳しい。施設の更新、新たな構築物等の建設に当たり、避難施設としても利用できるような検討していく。単独の防災施設の建設ということだけでなく、新たに市が建設する公共施設については、全て防災施設としても利用できるよう検討していく。

若者定住促進条例を

松下 本市は、近年、年少人口及び生産年齢人口

高速を活用した避難場所設置に必要な津波避難計画の変更は

至誠コマツシマ 南部 透 議員

答 計画見直しの必要性を認識している



南部 高速道路に一時避難場所を併設するに必要な条件は。
まちづくり推進課長 災害対策基本法に基づき、市が作成する津波避難計画等に位置づけることが必須条件である。

計画の策定から5年、策定時から対象人口や津波避難場所等の非難困難地域を検討するための条件が異なってきた。現状に応じた計画の見直しの必要性を認識している。

南部 高速道路を活用した一時避難場所を検討するために津波避難計画に記載されている地域は。
危機管理課長 7カ所を候補地として選定。
南部 高速が通る中田、江田地区の記載はない。この地域の津波避難計画が十分だと認識しているか。



四国横断自動車道 津波避難施設（徳島市）

南部 空き家対策に民間の活用を
小松島市の空き家対策において、老朽化した危険な空き家を除去するための補助金を交付。補助実績14軒。空き家バンクでは登録の全4軒中、2軒が成約。大きな成果が見えない。空き家事業は市が主となって行っていく事業なのか。民間の団体を積極的に活用しては。
産業建設部長 民間等と手を携えることで地域の活性化、街の魅力向上につながる施策を検討する。

の転出超過率が高いことが示されており、阿南市と徳島市への転出がほとんどである。今の小松島には、若者世代に特化した定住施策が必要で最重要課題と捉え若者定住促進条例を制定し、若者世代に予算を重点化し、未来への投資と考え取り組み。

むべき。
総務部長 人口減少は本当に喫緊の問題で、人口の減少により交付税自体も大きく減っている現状で早急に効果的な対策を考える中で先進的な取り組みも参考に検討したい。



津波避難階段が設置された和田島公民館

公共施設の稼働率向上に、民間のノウハウを
南部 有償で貸し出しての公共施設の利用状況は。
保健センター所長 平成30年ミリカホールの利用日数は168日、稼働率は60・4%。

生涯学習課長 有償の公共施設はスポーツ施設などがある。市立体育館などは、全体で月平均180件の利用。
南部 施設利用で使われていない時間帯があり、まだ貸し出しを広げる余地がある。公共施設の稼働率、市外からの利用者を促すために民間ノウハウの活用は。

生涯学習課長 インターネット上でのシステム構築により利用拡大につなげられる。民間事業者のシステム開発や運用状況を見ながら有用性、費用対効果を考慮し判断する。

地域資源を生かした観光振興は

新風はなみずき 近藤 純子 議員

答 水辺を活用した取組みから調査研究をする



近藤 横須海水浴場は、以前は賑わっていた。その後オゴノリが繁殖し、閉鎖となっている。現在、ボランティアの方々の手で清掃作業が活発に行われている。沼島や淡路島、鳴門海峡まで一望できる見事な景観である。

自然との触れ合いが少なくなっている今、浅瀬で子どもたちが水遊びができる環境整備を提案したい。横須海岸を観光資源として活用できないか。

水質浄化に努めている。
近藤 最新の県の水質検査によると、最高水質となっている。オゴノリの生息もない。市民の皆様が切望している横須海岸が、水と触れ合える海水浴場を目指し、小規模から始めてはどうか。



横須海岸

無差別事件から子どもを守るために学校の取組みは
近藤 川崎市の事件を受け、命の大切さの意識づけや危機回避能力の訓練等が必要と考えるが、命を守る学校の取組みは。
学校課長 登下校時の子どもを守るため、平成31年2月に交通・防犯

食物アレルギー 対処法の市民への周知徹底は
近藤 近年、食物アレルギーが深刻化している。症状に差はあるが、重い場合は時間が命を左右する。学校の取組みは。
教育政策課長 学校給食を運営する上できめ細かな対応に努めている。

食物アレルギー 対処法の市民への周知徹底は
保健センター所長 離乳食講習会でアレルギー反応の初期の観察方法を知らせているが、重篤な症状への対処方法についての周知は行っていない。今後、知識の普及について、周知方法を関係各課との協議の上研究していきたい。

小学校再編の実施計画による 今後のスケジュールは

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答 何校にするか、場所など
本年度に実施計画案を
策定し説明会を開催する



廣田 市内の小学校再編の実施計画の今後のスケジュールは。

廣田 高齢者への教育の普及、生涯学習にどのように取り組むのか。

教育政策課長 今年度の実施計画の策定を予定している。市内の小学校が再編により何校になるのか、新しい学校の場所はいつ開校するのか、具体的方策を盛り込んだ実施計画案が出来上がれば、地域での説明会やパブリックコメントを実施し、保護者地域住民の意見や要望などを聴きながら実施計画の策定につなげていきたい。

教育委員会参事 電子通信による情報化社会が進展し、情報を得るにはパソコンなどの活用が不可欠となりつつある。情報機器を十分に活用することができるときの教育の普及に努める。

廣田 今後の公民館の整備方針は。

公民館の整備方針は

高齢者の情報機器の活用ができる教育の普及

廣田 今後の公民館の整備方針は。
教育委員会参事 公民館は身近な地域コミュニティ施設であり、社会

教育を推進する場所として今後も必要である。耐震化を含めて各公民館の課題を解決し、各公民館活動が機能できるようにしたい。

廣田 市公共施設等総合管理計画の今後のスケジュールは。

総務課長 供用廃止施設を確実に除却し、管理費用等の削減に努めている。個別の施設計画については令和2年度末までに策定を目指す。パブリックコメントを経て成案を策定し議会に報告したい。

広報紙に投票率の発表は 各投票区ごとに

やまもくクラブ 吉見 勝之 議員

答 情報内容を調整し
投票区ごとの率も掲載する



吉見 各投票区ごとの投票率は広報発表と実際では次の通り違います。

投票区	投票所名	広報紙発表 (当日投票)	期日前を 含む合計
15	コミュニティ交流センターみぎさ	49.10%	72.44%
13	目佐児童館	46.49%	72.24%
12	坂野公民館	50.72%	64.39%
16	新開小学校	47.26%	63.61%
11	櫛淵小学校	49.11%	62.06%
7	芝田小学校	46.59%	63.02%
10	立江公民館	48.85%	62.54%

表しないのか。
選挙管理委員会事務局長 投票区ごとの投票率は市のホームページに記載している。次回からは提供する情報内容などの調整を考慮して表を作成するなどとしておき、投票区ごとの投票率も合わせて記載できるようにする。

集め講習すればどうか。
都市整備課長 一部議員の通報は、速やかな対応が出来ている。一般市民は私道、市道、県道、国道等の区別が付かない。路線が多いことを踏まえ、可否を含めて調査研究する。

市道、私有地道の補修と雑草は
吉見 議員が通報している、スマホで①近景、遠景の写真②グーグルマップで通報場所を指定③Eメールで通信④通信者には返事をしない。この4点を市民の賛同者で

ニュータウン水路等の整備は

吉見 ニュータウン排水処理施設の雑木の剪定と北東側の水路整備は。
まちづくり推進課長 排水処理施設2カ所は6月中に剪定。今後は年に1〜2回点検し支障があれば剪定する。

都市整備課長 造成時に整備した水路です。地元自治会様の協力をお願いし清掃などを実施する。

ペットボトルの分別収集、啓発は
吉見 ペットボトルの分別収集、啓発は。

一部分
別、洗浄が出来ていないこともある。袋に警告シールを貼るなど、パンフレットや広報などで周知徹底



各消防団の後援会費は

吉見 消防分団の地域後援会費は。
消防次長 消防後援会組織は地域組織であり地域の実情に任せている。

国民健康保険税の軽減について

日本共産党 橋本 昭 議員

答 県の標準保険料率に準じた
税率を適用すべきと考えている



橋本 国民健康保険の税額が高すぎるという市民の声が上がっている。市の考えは。

円の「ためこみ金」を持っていて。これを国保税の引き下げのために使えと、県に言えないか。

保健福祉副部長 原則的には、県から示された標準保険料率に準じた税率を適用すべきと考えている。

市長 国保事業安定化のために、全国市長会を通じて国の補助増額を要望している。

橋本 徳島県は311億

は、徳島市長選挙の投票日の晩に、当選した市長

広域ごみ処理施設の場所について

橋本 小松島市の上水道水源に近い飯谷町に広域ごみ処理施設建設予定地が決まっても、反対でなかった本当の理由は、徳島市長選挙の投票日の晩に、当選した市長

小学校統廃合計画は

皆さんの手を握り「広域行政でやってほしい」と頭を下げて頼んだので、その手前、飯谷町に建設ということがわかって「飯谷ではダメ」と言えなかったのではないかと。
市長 さまざまな視点による評価に基づき、6市町の首長で了承された。



市役所で働く非正規労働者の待遇改善について

橋本 会計年度任用職員制度とは、どのようなも

ある。小学校が無くなれば、若者世帯が住まなくなるとは。
教育政策課長 学校再編の趣旨を、小学校区の保護者や地域住民、学校関係者の方々に説明を行う。

のなのか。
人事課長 地方自治法と地方公務員法が改正され非常勤職員として任用されてきた職員が、大部分は会計年度職員として新たに位置づけられる。

橋本 国の法律改正の中で、非正規職員の待遇改善では、①経験年数に応じた賃金の改善②期末手当の支給③退職金制度が出来るといったことである。市長の考えを聞かせて欲しい。

市長 給与の経験年数加算、期末手当、退職金については、総務省からの方針も示されていることから、そうしたことも踏まえて、適切に判断してまいりたい。

今年度設計協議に入る公民館



小松島公民館



南小松島公民館

通学路の危険ブロック塀対策は

新風はなみずき 佐野 善作 議員

答 合同点検を行うなど
安全対策を講じる



佐野 民間所有の危険なブロック塀の安全対策に対する補助金制度は。住宅課長 国、県の補助金を活用して避難路等に面した危険性の高いブロック塀等を撤去する際に、補助金を交付する制度を7月に募集する。

危機管理課長 ハード面では学校施設等の耐震化やいのち山整備、金磯ポンプ場や葬祭場の建設和田島会館改修に伴う避難施設整備、防災無線の整備等がある。ソフト面では、地域防災計画や津波避難計画、業務継続計画、避難所運営マニュアル、初動マニュアル等の策定や津波ハザードマップを作成している。今年度の4月より市のホームページにウェブのハザードマップを掲載している。総合防災訓練を今年度10月20日に芝田小学校で行う。災害時のトイレ



ブロック塀倒壊現場
出典・災害写真データベース

対策として県の災害快適トイレ計画に沿って、簡易トイレ及び携帯トイレを主な避難所に配備する。洪水、土砂災害ハザードマップを更新し、全戸に配布予定である。

佐野 津波避難対策行動計画をつくるべきだが。

危機管理課長 地域防災計画を基本として、関係各課と連携して効果的かつ効率的に推進していく。

になる。民家や倉庫が床上・床下浸水になり、野菜にも被害が出ている。6トンポンプ場の改築計画は。

産業建設部副部長 流域全体の水管理という広い視点に立ち、浸水被害の防止のため、必要不可欠である。引き続き県に対して要望していく。



田野川の樋門

し粘り強く働きかけを行う。

佐野 田野川樋門改修の、現在の取り組みは。

産業建設部長 南海トラフ地震の発生が強く危惧される中、河川水門の整備は重要である。早期の改築に向け、引き続き県に要望していく。

少子化の進行による人口減の対策は

令和の会 井内 章介 議員

答 的確に対処するため関係機関と連携を図り、施策を推進する



井内 少子化対策を進めない、近い将来本市でも広い地域で過疎化や高齢化が予想され、町に活気がなくなり衰退の恐れがある。少子化社会対策基本法が制定されているが、本市の取り組みは。

児童福祉課長 5カ所の公立保育所と2カ所の私立保育園で保育の実施、近年は4園の認定こども園を開設した。また、子育て支援体制として乳幼児と保護者が気軽に利用・相談できる施設も開設している。さらに保育料の第3子無料化を初め、就学前教育・児童手当・児童扶養手当の支給



さかの認定こども園

井内 第6次総合計画の中に2060年の目標人口を3万人と定めている。人口減少の課題として子育てしやすいまちづくりを掲げているが、具

児童福祉課長 人口減少

社会における公共施設の適正管理、少子化による教育・保育ニーズへ対応できる子育て支援策の充実を図るため、幼児教育保育料無償化や在宅育児応援クーポン事業等を実施する予定である。今後多様な支援を進める体制づくりに努めたい。

井内 少子化による人口減に歯止めをかける取り組みについては多岐にわたると思うが、本市の将来を左右する大切な事柄である。市長の将来の展望は。

市長 先ほどあった少子化対策の強化、子育ての環境づくりに重点を置

き、第6次総合計画を初めとする様々な施策を今後も実行していく。

自主防災組織の結成状況は

井内 近い将来、その発生が予想される地震や津波の被害から身を守るため、各地域の自主防災組

織が中心となり活動されると思うが、本市の自主防災組織の状況は。

危機管理課長 平成31年4月現在の組織数は25組織であり、結成率は73.3%である。

井内 結成率は10年前とほぼ変わっていない。地域により事情は違うと思

うが、結成できない要因は、子高齢化の進行・コミュニティの希薄化また、負担が大きいためリーダーの成り手不足などが背景にあると考える。今後、自治会・社会福祉協議会等各団体と連携を図り、新規結成につなげたい。

議員の議決結果（令和元年6月定例会議）

議案等	結果
第45号 令和元年度小松島市一般会計補正予算（第1号）	可決
第46号 令和元年度小松島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
第47号 小松島市事務手数料条例の一部を改正する条例について	可決
第48号 小松島市火災予防条例の一部を改正する条例について	可決
第49号 小松島市印鑑条例の一部を改正する条例について	可決
第50号 小松島市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決
第51号 小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
第52号 小松島市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
第53号 徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
第54号 訴えの提起について	可決
第55号 財産の取得について	可決

賛否の分かれた陳情（賛否表は下記のとおり）

陳情第4号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について
陳情第5号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情について
陳情第6号	日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める陳情について
陳情第7号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情について

議案等	議員名											結果					
	南部	津川	近藤	佐藤	井内	橋本	松下	四宮	米崎	廣田	池淵		吉見	出口	井村	杉本	佐野
陳情第4号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
陳情第5号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
陳情第6号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
陳情第7号	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査

委員長の報告（継続審査）に対して ○は賛成 ●は反対
※議長（前川英貴）は採決に加わりません。

令和元年9月 定例会議 日程

◎開会時刻はすべて 10 時です。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		開 会	休 会 (議案調査)	質 疑 一般質問	質 疑 一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	質 疑 一般質問	総 務 常任委員会	文 教 厚 生 常任委員会	産 業 建 設 常任委員会	予 算 決 算 常任委員会 ①	
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	予 算 決 算 常任委員会 ②	予 算 決 算 常任委員会 ③	予 算 決 算 常任委員会 ④	休 会 (事務整理)	
22	23	24	25	26	27	28
	秋分の日	休 会 (事務整理)	予 算 決 算 常任委員会 ⑤	予 算 決 算 常任委員会 ⑥	休 会 (事務整理)	
29	30					
	議決・散会					

議会を読もう
議会だより「Seventeen」は、2月、5月、8月、11月の各5日に発行します。ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知る時間になしてください。

議会を見学しよう
定例会議は、3月、6月、9月、12月に開催します。すべての会議、委員会で傍聴できます。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会を動画で見よう
本会議の様様をケーブルテレビでライブ中継をしています。当日夜、録画再放送も行っています。委員会はインターネットで録画配信をしています。

議会に参加しよう
議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

発行／小松島市議会
議長 前川英貴

横須海水浴場 昭和30年頃

松原が続く横須海水浴場は、県内各地から海水浴客が訪れ、当時は大変な賑わいがあった。学校からの海水浴といえば横須か弁天さんに行き「命札」というものを用意して泳いだ記憶のある年配の方もいるのではないだろうか。



昭和30年頃



現在

写真で見る市内の
今昔風景
〜横須海岸〜

編集／議会広報特別委員会
委員長 廣田和三

- | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|-----|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 南 | 佐藤光太郎 | 近藤純子 | 井内章介 | 橋本昭 | 吉見勝之 | 津川孝善 | 廣田和三 |
| 部 | 透 | | | | | | |

広報委員

今回の議会だよりは3月議会と6月議会を合わせた内容となっています。4月に市議会議員の選挙があったために4年に一度ですがこのような編集内容になりました。広報委員も新メンバーとなり紙面も思い切ったリニューアルしました。限られた枠の中で多くの議会情報を如何に紹介するかで、ああしたらこうしたらと各委員が工夫に孤軍奮闘しています。
(廣田和三)

編集後記